

## 平成30事業年度経営目標

### 1. 基本目標

将来にわたる事業運営の安定化と経営基盤の強化を図るとともに、競馬の施行を通じた社会貢献を果たしていくため、平成30事業年度の基本目標は以下のとおりとする。

- **事業運営の根幹となる開催日数288日（36開催）の競馬の着実な実施**
  - ① 競馬の着実な実施は事業運営の根幹であり、JRAは、お客様の安全確保の徹底や競馬の公正確保の徹底、防疫面での強固な取組み、競走馬の事故防止対策の推進、各種システムの安定的運用等を通じて、288日の競馬を遂行する。
  - ② より多くのお客様が参加できるよう288日の競馬開催日を設定したうえで、自然災害等により当初計画での実施が困難な場合においても、関係各所との調整を速やかに行い、代替競馬・続行競馬の実施について判断する。
  
- **魅力ある競馬開催によるお客様総数の拡大—対前年比100%超**
  - ① 魅力ある競走の提供等により開催競馬場の入場人員の増加を図る。
  - ② 快適な観戦環境の提供等によりパークウインズ及びウインズの入場人員の増加を図るとともに、販売ネットワークの拡充等によりJ-PLACEの入場人員の増加を図る。
  - ③ 電話・インターネット投票の利便性向上等により会員の増加を図る。
  - ④ お客様総数の拡大による発売金の増加を図る。

## 2. 個別目標

### (1) 魅力ある競走の提供

お客様に長期にわたって中央競馬を楽しんでいただくため、魅力ある競走を提供すべく、以下の項目に取り組む。

- ① G I 競走を頂点としたわかりやすい競走体系を構築すること。
- ② 質の高い出走馬による内容・頭数の充実した競走を提供すること。(平地重賞競走について、1 競走あたりの平均出走頭数が14頭以上。)
- ③ 中央競馬が世界のチャンピオンホースを決定する重要なステージとして位置付けられること。

### (2) 競馬の公正確保の徹底

競馬の施行にあたり、公正確保及び安全確保に万全の態勢を整える。

- ① 馬主・競走馬等の登録、調教師・騎手の免許及びその取消しについて、競馬関係法令に基づき、厳正に実施する。また、競馬の公正を確保するため、必要な制裁や処分を厳正に実施する。
- ② 競馬に関する不正事案を未然に防止するため、常に保安体制の整備や注意喚起等を実施する。

### (3) 競馬への参加促進

競馬の魅力を訴求するとともに、競馬場等における各種施策の実施により、競馬への参加促進を図る。

- ① 各種メディアを通じたプロモーションを展開するとともに、G I 競走をはじめ、J B C 競走や12月28日の年末開催、海外競馬の発売等、様々な機会を通じてプロモーションを実施し、競馬の魅力を訴求する。
- ② 安定的な競馬中継の実施やパブリシティ活動の充実により、競馬に対する興味を喚起する。
- ③ 競馬場等において、多様なお客様層に応じたアプローチを行うなど、幅広いお客様の参加を促し、お客様の裾野拡大に取り組む。

### (4) 販売促進

お客様により競馬を楽しんでいただくため、勝馬投票券をより購入しやすい環境の整備に取り組むとともに、各種販売促進により、推理の楽しみと的中体験を通じた競馬の魅力も多くの方にお届けできるよう取り組む。

- ① キャッシュレス投票システムを導入するなど、競馬場やウインズ等における勝馬投票の利便性及びサービスの向上を図る。
- ② 払戻金施策をはじめ、各種販売促進施策を実施する。
- ③ 電話・インターネット投票会員の加入促進とフォローアップによる離脱防止に取り組む。

## (5) ホスピタリティの向上

競馬場やウインズにご来場いただいたお客様により快適に競馬を楽しんでいただくため、ホスピタリティの向上に努める。

- ① 接客マナーの向上を図るとともに、案内体制を充実する。
- ② 競馬場やウインズ等において、観戦環境の向上を図る。

## (6) 馬事振興

我が国の馬文化を支え、競馬を健全に発展させるため、馬事文化の発展や乗馬の普及など、馬事の振興に努める。

- ① 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会において馬術競技会場となるJRA馬事公苑の整備工事を進める。
- ② 各種の事業を通じ、乗馬の普及や馬術の振興、馬事文化の発展への寄与に取り組み、馬に対する理解を促進する。また、引退競走馬の利活用促進及び福祉の充実を図るため、乗用馬への転用等セカンドキャリアの促進を支援する。

## (7) 社会貢献活動とCSR

地域社会との調和をはじめとした社会貢献活動や環境対策などのCSRに積極的に取り組み、社会に愛され、信頼される中央競馬を目指す。

また、国際協調・国際協力を通じた競馬発展に取り組む。

- ① 社会貢献活動を推進する。
  - i) 地域社会との連携・協調に取り組む。
  - ii) 交付金の交付により、畜産振興を図る。
- ② CSRへの取り組みを推進する。
  - i) 事業運営に伴う排出物のリサイクルや温室効果ガスの排出抑制に取り組む。
  - ii) 情報セキュリティの確保やコンプライアンスの遵守、事業の適正性及び透明性の確保など、企業として求められる社会的責任を果たす。
- ③ ギャンブル障害について、研修等を通じて役職員が正しい知識に基づく認識を持つとともに、お客様へ注意喚起・知識の普及啓発などの対応を適切に行う。
- ④ アジア競馬連盟に主導的な立場で参画し、域内全体の競馬のより一層の発展に貢献するとともに、円滑な国際交流を進める基盤を整備する。

## (8) 施設及びコンピュータ・システムの整備

- ① お客様により快適で安全な観戦環境を提供するため、お客様関連施設の改善及び整備を行う。
- ② 質の高い競走に資するため、競走関連施設の改善及び整備を行う。
- ③ コンピュータ・システムについて、お客様への迅速、正確かつ安定的なサービスの提供を行うため、改善及び整備を行うとともに、効率的なシステム運用を図るため、全体最適化を進める。

## (9) 効率的な業務運営

将来にわたる経費負担の抑制に継続的に取り組むとともに、資産の有効活用等に取り組む、経営基盤の強化を図る。

---

(注記) : お客様総数 = 競馬場・ウインズ・J-PLACE への来場者数  
+ 電話・インターネット投票の利用人員数  
(海外競馬の競走の発売を含む)